

雑感

松本市在住 田原

人間にとってペットとは人生の伴侶であり、癒しであり、家族であり・・・、楽しみや悲しみを与えてくれる、単に家畜という意味ではない人がほとんどだと思います。私は犬しか飼ったことがありませんが、飼う経験から、話題が増え、普段は何気なく通り過ぎていく人達と出会い、立ち話をしたり、世代の違う友達ができたり、ありきたりですが命の大切さを学び、全く興味がなかったことに目が向くようになり、死に直面した時の辛さや立ち直っていこうとする気持ちを実感しました。

動物には不思議な力があって、飼い主の心を察して離れたりくっついたり、無関心を装ったり甘えてみたり・・・、落ち込んでいる時や寂しい場面では呼ばなくてもそっと寄り添い、嬉しい事、幸せなときは、ちょっとお漏らししてしまう程、一緒に喜んでくれます。押しつけではない、無意識のうちに入り込んでくるエネルギーがペットにはあるように思います。だから人間には心を開けない人が動物と接する事で笑顔に戻ったり、表情が柔らかくなったりとアニマルセラピーの効果は大きいんだなあと思います。

でも悲しいかな。地球は人間中心で回っています。昔、観た“猿の惑星”という映画で、私は、ラストの映像より、猿が支配する国で、果樹園を荒らす人間たちが銃で駆除されるシーンにショックを受けました。今この時も、人間社会に被害を与える野生動物は殺され、人間の都合で捨てられたペットは処分されています。人の営み上、仕方がないのかも知れませんが、環境汚染や地球温暖化、そして戦争・・・、私達がやっていること、日々の生活を考えるととても不条理です。もっと努力の余地があるのではないかと・・・。

イギリスでのアニマルレスキューやアメリカの動物病院ER（救命）の活動、公園の開放、他国から学べることはたくさんあります。では、何が出来るかと問われると、何もしていないのが現実で・・・、でも私は、

無関心・無知が一番の罪で恐ろしい事だと思います。

先日、処分される犬たちの姿がテレビで放映されました。檻がボタン1つで動きガス室まで誘導する仕組みです。そこに送り込まれる犬の瞳が悲しげで涙が止まりませんでした。医学部で学んでいる人が、実験でウサギが恐怖からおしっこしたのを笑った学生らを見て、「この人たちが命を預かる医者になるのか」と不安に感じたという話を思い出しました。慣れとはとても怖いものだと改めて感じます。

ベネチアの猫は世界一幸せだそうです。昔、ネズミの被害から人々を救った功績から、飼い猫もノラ猫も大切にされています。街角に小さな猫ハウスが設けられていて、ゆっくりとした時間の流れを猫たちは自由気ままに本来の猫らしさで暮らし、それを許す人々の寛大な心のゆとりを感じます。

日本に置き換えるには無理があるかもしれませんが、安易な気持ちで動物を買わない・飼わない、不妊去勢する（これには反対の考えもあるでしょうが）など、処分される命を作らない方法はあるはずです。行政との協力や登録制度、命を商売としているペット業界には登録資格を導入してもらいたいです。飼い主がなかった動物たちはどうなっているのか、素朴な疑問です。捨て犬、ノラ猫には、庭を荒らす・鳴き声がうるさい等、厳しい目が向きます。それに交通事故や病気で寿命は2～3年だそうです。過酷な環境の中で、それでも生きぬいています。

飼い主の努力、マナー、知識でペットやノラ猫・のら犬の環境も変わってくるはずですが。また、飼っていない人達も、動物を取り巻く出来事を知ることで、違った考えや新しい発想が生まれてくるかもしれません。いずれにせよ、せせこましい世の中でも、人間にも動物にも自然にも心の広さを持ちたいと思うのです。

夢ですが・・・。

平成13年度『ねこの会』会計報告

収入の部

(単位：円)

募金箱より	¥	26,891	塩井の湯・日米書院・信州ペット霊園
寄付金	¥	60,670	会員8名・その他協力者4名
合計	¥	87,561	

支出の部

事務費	¥	2,985	印刷代・銀行手数料
備品費	¥	15,850	捕獲器購入・募金箱購入・会印作製
運搬交通費	¥	38,000	缶詰送料・県センター研修交通費
会場借料	¥	3,675	研修会会場費・委員会会場費
合計	¥	60,510	

(収入) 87,561 - (支出) 60,510 = (残金) 27,051

※上記金額の他に中島塗装店様より毎月300円相当の餌の寄付をいただいております。